

平成 24 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(原耕地、宿、斑目)

開催日時	平成 24 年 9 月 28 日 (金) 午後 7 時から午後 9 時	天気 晴れ
場 所	岸集会所	
町民参加者	男 24 人 女 7 人 (40 代以下 0 人、50 代 7 人、60 代以上 24 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、企画財政課長、総務防災課長、商工観光課長、都市整備課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：防災対策》

○消防の広域化について、箱根町が離れ、真鶴町が離脱してしまい、財政負担の面で当初の段階と比較し影響があったのではないかと。

○平成の大合併により合併した町村で、当初 1 年はすぐに救急車が来ていたが、2、3 年と経過すると山間深くまで救急車が来なくなり、ふもとまで出てきて救急車に乗るなどの話を聞いたことがある、消消防が広域化した場合、丹沢の奥などで救急を呼んでも来るのか。

○消防が広域化となった場合、機材の維持管理等についての分担はどうなるのか。

○生活弱者と呼ばれている人の情報について、民生児童委員には比較的詳しい情報が入っているので、災害時に支援するために自治会にも情報がほしいが、制約があるのか。

○ドクターヘリを要請する判断は誰がしているのか。

○改定される防災ハンドブックには、南海トラフ地震や神奈川県西部地震などの被害想定も入っているのか。

○宿地区にある民家の 5、6 軒が急傾斜地にあるが、県で急傾斜地に認定されれば、県の補助で整備事業ができると思うが、認定されるのか。

《テーマ：ごみ対策》

○斑目地区では自治会に加入していない人が、分別を無視して、出してはいけないごみを出したり、ごみの集積所の掃除当番に協力しないなど、自治会長や近所の住民に負担をかけている。こういう方は自治会長の指導にも従わない。ごみを出すのは住民の当然の権利だと考えているようだ。自治会に入っていない人は、その地区のごみ集積所の使用を禁止にできないのか。

○私が、前に住んでいた自治体では集積所の掃除をしなければごみは出せないルールになっていた。

《テーマ：その他》

○若い方で自治会に入らない方が多いが、役場では転入者に自治会に入るメリット、デメリットも伝えているのか。

○神奈川県緊急財政対策で、ユースンロッジが廃止の候補となっている。町の財産である丹沢のユースンを守ってもらいたい。

○山北町の玄関口である山北駅の前にあるふるさと交流センターに鉢植えがあるが、いつも草だらけ。